

# 交通事故発生概況(令和2年5月末概数)

資料3

環境生活部くらし安全局道民生活課

## 1 交通事故発生概況

- (1) 5月末現在の死者数は44人で、前年比で2人増加し、発生件数及び傷者数は前年比で減少した。
- (2) 5月末現在の都道府県別死者数は8位で、1位の愛知県(68人)とは24人差となっている。
- (3) 5月中の死者数は10人で、前年比で2人減少し、発生件数及び傷者数も減少した。

### ○ 発生概況

区分	当年累計	前年比	
		前年比	増減率
発生件数	3,120	-646	-17.2
死者数	44	2	4.8
傷者数	3,600	-805	-18.3

### ○ 全国及び各都道府県の死者数

区分	全国	1	2	3	4	5	8
		愛知県	神奈川県	東京都	大阪府	埼玉県	北海道
死者数	1,155	68	61	56	55	49	44
前年比	-57	17	3	10	4	-4	2

### ○ 死者数の年別推移

区分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	過去平均		R2年
												10年	
4月末死者数	66	45	66	48	61	60	52	41	56	42	54	50	44
年間死者数	215	190	200	184	169	177	158	148	141	152	173	155	-

### ○ 飲酒運転を伴う人身事故

区分	概数	前年比
件数	30	-11
死者数	0	-1
傷者数	34	-20

### ○ 各(総合)振興局別死者数

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	計
死者数	5	12	2	4	1	2	0	5	0	0	5	2	4	2	44
前年比	3	5	0	1	-2	0	0	-3	-2	-1	3	-4	0	2	2

## 2 交通死亡事故の主な特徴

### ① 事故類型別: 人对車両13人で最も多く、次いで車両単独が11人となっている。

区分	人对車両	自転車対車	車 両 相 互				車両単独	踏切
			正面衝突	追突	出会い頭	その他		
死者数	13	2	9	0	3	5	12	0
構成率	29.5	4.5	20.5	0.0	6.8	11.4	27.3	0.0
前年比	2	0	0	-3	-2	3	2	0

### ② 第1当事者違反別: 前方不注意が14人で最も多く、次いで操作不適が7人となっている。

区分	酒酔い	最高速度	追越し・ 通行区分	歩行者妨害	信号無視	一時不停止	過労運転	安全運転義務違反				その他
								操作不適	前方不注意	安全速度	その他	
死者数	0	3	2	3	1	2	0	7	14	1	2	9
構成率	0.0	6.8	4.5	6.8	2.3	4.5	0.0	15.9	31.8	2.3	4.5	20.5
前年比	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	-4	1

### ③ 第1当事者年齢別: 75歳以上が11人で最も多く、次いで40代が8人となっている。

区分	若年者			青年・壮年						高齢者				その他
	15以下	16~19	20~24	25~29	30代	40代	50代	60~64	65~69	70~74	75以上	高齢者計		
死者数	0	1	1	2	6	8	3	4	4	2	11	17	2	
構成率	0.0	2.3	2.3	4.5	13.6	18.2	6.8	9.1	9.1	4.5	25.0	38.6	4.5	
前年比	0	1	-6	-1	3	3	-5	3	0	-1	4	3	1	

### ④ 死者年齢別: 75歳以上が14人で最も多く、次いで50歳代、60~64歳が6人となっている。

- ⑤ シートベルト非着用者: 自動車(二輪を除く)乗車中の死者23人中、13人がシートベルト非着用となっている。  
自動車(二輪を除く)乗車中の死者23人中、シートベルト非着用者は13人(56.5%)であり、うち10人はシートベルトを着用していたならば助かった可能性が高い。

※(注)~構成率については、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で100にならない場合がある。

(北海道警察本部交通部交通企画課調べ)